

時報

本報地址：東京市丸の内區有樂町一丁目
電話：二二二二
代售處：各埠各大書店均有代售

行北	行南
東京市丸の内區有樂町一丁目 電話：二二二二	東京市丸の内區有樂町一丁目 電話：二二二二

地方人の覺醒 (下)

伊澤多喜男氏談

地方人の覺醒は、日本の前途に關する重大な問題である。地方人は、従来、中央の政治に無関係で、地方の事情にのみ従順してゐた。然るに、最近、地方人は、自分の権利を主張し、地方の政治に参與するに至つた。これは、地方人の覺醒の第一歩である。地方人は、地方の政治を、自分の生活と密接に關連するものとして、積極的に参與するべきである。地方人は、地方の政治を、自分の生活と密接に關連するものとして、積極的に参與するべきである。

尼港の惨事

尼港の惨事は、日本の海外展開に關する重大な事件である。尼港は、日本の海外展開の重要な拠点である。然るに、最近、尼港に惨事が生じた。これは、日本の海外展開に重大な打撃を与えるものである。日本は、尼港の惨事を、日本の海外展開の重要な事件として、積極的に参與するべきである。

有樂町

有樂町は、東京の中心地である。有樂町には、多くの名店や名所がある。有樂町は、東京の中心地として、積極的に参與するべきである。

神田

神田は、東京の中心地である。神田には、多くの名店や名所がある。神田は、東京の中心地として、積極的に参與するべきである。

布衣生

布衣生は、日本の文化を代表する人物である。布衣生は、日本の文化を、積極的に参與するべきである。

文化主義と社會問題

文化主義と社會問題は、日本の前途に關する重大な問題である。文化主義は、日本の文化を、積極的に参與するべきである。社會問題は、日本の社會を、積極的に参與するべきである。

博士の近業

博士の近業は、日本の前途に關する重大な問題である。博士は、日本の前途を、積極的に参與するべきである。

三體古事記

三體古事記は、日本の歴史を代表する作品である。三體古事記は、日本の歴史を、積極的に参與するべきである。

文化主義と社會問題

最新刊

博士の近業

三體古事記

三體古事記

三體古事記は、日本の歴史を代表する作品である。三體古事記は、日本の歴史を、積極的に参與するべきである。

日本と世界見物

日本と世界見物は、日本の文化を代表する作品である。日本と世界見物は、日本の文化を、積極的に参與するべきである。

模範書簡文講話及文範

模範書簡文講話及文範は、日本の文化を代表する作品である。模範書簡文講話及文範は、日本の文化を、積極的に参與するべきである。

新式生花

新式生花は、日本の文化を代表する作品である。新式生花は、日本の文化を、積極的に参與するべきである。

少女画報

少女画報は、日本の文化を代表する作品である。少女画報は、日本の文化を、積極的に参與するべきである。

新式生花

新式生花は、日本の文化を代表する作品である。新式生花は、日本の文化を、積極的に参與するべきである。

戦後の支那

戦後の支那は、日本の文化を代表する作品である。戦後の支那は、日本の文化を、積極的に参與するべきである。

郵便局所にて公債賣出し

郵便局所にて公債賣出しは、日本の文化を代表する作品である。郵便局所にて公債賣出しは、日本の文化を、積極的に参與するべきである。

利拂期年五分

利拂期年五分は、日本の文化を代表する作品である。利拂期年五分は、日本の文化を、積極的に参與するべきである。

獨政局依然混沌

蔣主席對日寇之要求，始終未予接納。日寇之要求，始終未予接納。日寇之要求，始終未予接納。

我海員代表著

九日海員代表著，九日海員代表著，九日海員代表著。

同盟更新通牒

同盟更新通牒，同盟更新通牒，同盟更新通牒。

英炭坑夫黃金追加要求

英炭坑夫黃金追加要求，英炭坑夫黃金追加要求。

批准保留讓步

批准保留讓步，批准保留讓步，批准保留讓步。

過激攻擊答辯

過激攻擊答辯，過激攻擊答辯，過激攻擊答辯。

怨敵バルチザン

怨敵バルチザン，怨敵バルチザン，怨敵バルチザン。

唯幽魂を叩く耳

唯幽魂を叩く耳，唯幽魂を叩く耳，唯幽魂を叩く耳。

パ氏投票數增加

パ氏投票數增加，パ氏投票數增加，パ氏投票數增加。

リパブリカン黨候補者

リパブリカン黨候補者，リパブリカン黨候補者。

大統領候補指名

大統領候補指名，大統領候補指名，大統領候補指名。

ス氏提議拒絕

ス氏提議拒絕，ス氏提議拒絕，ス氏提議拒絕。

東洋人問題兩決議案

東洋人問題兩決議案，東洋人問題兩決議案。

氣象日誌

氣象日誌，氣象日誌，氣象日誌。

天氣預報

天氣預報，天氣預報，天氣預報。

斬總理進退不測

斬總理進退不測，斬總理進退不測，斬總理進退不測。

和議會議顧問任命決定

和議會議顧問任命決定，和議會議顧問任命決定。

張曹兩督軍晉京如何

張曹兩督軍晉京如何，張曹兩督軍晉京如何。

航空法制定急務

航空法制定急務，航空法制定急務，航空法制定急務。

各元老協議

各元老協議，各元老協議，各元老協議。

國際通信會議

國際通信會議，國際通信會議，國際通信會議。

參事官會議

參事官會議，參事官會議，參事官會議。

府新稅實施期

府新稅實施期，府新稅實施期，府新稅實施期。

金銀子協定期

金銀子協定期，金銀子協定期，金銀子協定期。

民族性を認めよ

民族性を認めよ，民族性を認めよ，民族性を認めよ。

事大思想の發達

事大思想の發達，事大思想の發達，事大思想の發達。

郵航路開散

郵航路開散，郵航路開散，郵航路開散。

期米慘澹

期米慘澹，期米慘澹，期米慘澹。

新湯縣視察團

新湯縣視察團，新湯縣視察團，新湯縣視察團。

鐵路運輸停止

鐵路運輸停止，鐵路運輸停止，鐵路運輸停止。

市中金利強含

市中金利強含，市中金利強含，市中金利強含。

銀塊反騰

銀塊反騰，銀塊反騰，銀塊反騰。

綿布組合金融

綿布組合金融，綿布組合金融，綿布組合金融。

又復紛議か

又復紛議か，又復紛議か，又復紛議か。

麻布解問題

麻布解問題，麻布解問題，麻布解問題。

公會堂工事

公會堂工事，公會堂工事，公會堂工事。

大臺割れ近し

大臺割れ近し，大臺割れ近し，大臺割れ近し。

中樞院例會

中樞院例會，中樞院例會，中樞院例會。

辭令

辭令，辭令，辭令。

鐵路運輸停止

鐵路運輸停止，鐵路運輸停止，鐵路運輸停止。

郵航路開散

郵航路開散，郵航路開散，郵航路開散。

期米慘澹

期米慘澹，期米慘澹，期米慘澹。

新湯縣視察團

新湯縣視察團，新湯縣視察團，新湯縣視察團。

鐵路運輸停止

鐵路運輸停止，鐵路運輸停止，鐵路運輸停止。

郵航路開散

郵航路開散，郵航路開散，郵航路開散。

市中金利強含

市中金利強含，市中金利強含，市中金利強含。

銀塊反騰

銀塊反騰，銀塊反騰，銀塊反騰。

綿布組合金融

綿布組合金融，綿布組合金融，綿布組合金融。

又復紛議か

又復紛議か，又復紛議か，又復紛議か。

麻布解問題

麻布解問題，麻布解問題，麻布解問題。

公會堂工事

公會堂工事，公會堂工事，公會堂工事。

大臺割れ近し

大臺割れ近し，大臺割れ近し，大臺割れ近し。

中樞院例會

中樞院例會，中樞院例會，中樞院例會。

辭令

辭令，辭令，辭令。

鐵路運輸停止

鐵路運輸停止，鐵路運輸停止，鐵路運輸停止。

郵航路開散

郵航路開散，郵航路開散，郵航路開散。

期米慘澹

期米慘澹，期米慘澹，期米慘澹。

新湯縣視察團

新湯縣視察團，新湯縣視察團，新湯縣視察團。

鐵路運輸停止

鐵路運輸停止，鐵路運輸停止，鐵路運輸停止。

郵航路開散

郵航路開散，郵航路開散，郵航路開散。

市中金利強含

市中金利強含，市中金利強含，市中金利強含。

銀塊反騰

銀塊反騰，銀塊反騰，銀塊反騰。

綿布組合金融

綿布組合金融，綿布組合金融，綿布組合金融。

又復紛議か

又復紛議か，又復紛議か，又復紛議か。

麻布解問題

麻布解問題，麻布解問題，麻布解問題。

公會堂工事

公會堂工事，公會堂工事，公會堂工事。

大臺割れ近し

大臺割れ近し，大臺割れ近し，大臺割れ近し。

中樞院例會

中樞院例會，中樞院例會，中樞院例會。

辭令

辭令，辭令，辭令。

鐵路運輸停止

鐵路運輸停止，鐵路運輸停止，鐵路運輸停止。

郵航路開散

郵航路開散，郵航路開散，郵航路開散。

期米慘澹

期米慘澹，期米慘澹，期米慘澹。

新湯縣視察團

新湯縣視察團，新湯縣視察團，新湯縣視察團。

鐵路運輸停止

鐵路運輸停止，鐵路運輸停止，鐵路運輸停止。

郵航路開散

郵航路開散，郵航路開散，郵航路開散。

市中金利強含

市中金利強含，市中金利強含，市中金利強含。

銀塊反騰

銀塊反騰，銀塊反騰，銀塊反騰。

綿布組合金融

綿布組合金融，綿布組合金融，綿布組合金融。

又復紛議か

又復紛議か，又復紛議か，又復紛議か。

麻布解問題

麻布解問題，麻布解問題，麻布解問題。

公會堂工事

公會堂工事，公會堂工事，公會堂工事。

大臺割れ近し

大臺割れ近し，大臺割れ近し，大臺割れ近し。

中樞院例會

中樞院例會，中樞院例會，中樞院例會。

辭令

辭令，辭令，辭令。

鐵路運輸停止

鐵路運輸停止，鐵路運輸停止，鐵路運輸停止。

郵航路開散

郵航路開散，郵航路開散，郵航路開散。

期米慘澹

期米慘澹，期米慘澹，期米慘澹。

新湯縣視察團

新湯縣視察團，新湯縣視察團，新湯縣視察團。

鐵路運輸停止

鐵路運輸停止，鐵路運輸停止，鐵路運輸停止。

郵航路開散

郵航路開散，郵航路開散，郵航路開散。

市中金利強含

市中金利強含，市中金利強含，市中金利強含。

銀塊反騰

銀塊反騰，銀塊反騰，銀塊反騰。

綿布組合金融

綿布組合金融，綿布組合金融，綿布組合金融。

又復紛議か

又復紛議か，又復紛議か，又復紛議か。

麻布解問題

麻布解問題，麻布解問題，麻布解問題。

公會堂工事

公會堂工事，公會堂工事，公會堂工事。

大臺割れ近し

大臺割れ近し，大臺割れ近し，大臺割れ近し。

中樞院例會

中樞院例會，中樞院例會，中樞院例會。

辭令

辭令，辭令，辭令。

鐵路運輸停止

鐵路運輸停止，鐵路運輸停止，鐵路運輸停止。

郵航路開散

郵航路開散，郵航路開散，郵航路開散。

期米慘澹

期米慘澹，期米慘澹，期米慘澹。

新湯縣視察團

新湯縣視察團，新湯縣視察團，新湯縣視察團。

鐵路運輸停止

鐵路運輸停止，鐵路運輸停止，鐵路運輸停止。

郵航路開散

郵航路開散，郵航路開散，郵航路開散。

學書連の各部

昏睡狀態に在

癩病發食の本邸に拘めたる者、
認昌豐川良牛氏の養育は、結
良にて十一月廿九日は體
十厘一分脈搏百三十五呼吸
八全くの昏迷状態にありて
金銀、桂井、高木等の醫藥
亦絶望なる旨告げ奉る。同
病床に詰りける看護に努む。
梁に逆吊にし散々たる後、
向は明來非上之助、大友久
田尻市長、加藤高明子、高
打撃したるを全身十割タ所ニ燒

さ誠信し旬月二十一日友人なる
出大王と云ふ者との兩名と
共に妻の智恵女赴き伊草信を連
れ歸つて房入れば其の行方を
知れてよと種々な拷問するも
全く知らざるなり知らぬの一點
に命斷ず。案驗はその實兒
金銀等と共に伊草信を荒魂
に縛して

朝日山

總督官邸に
入らせらる
ルニア皇太子殿下には十日
アドラス殿にて寄港に著された
る公式の御旅行なるを以て登
港御覧を親しく船に御出迎申上
る

いよく渡米
大阪相模協会の朝日山組に撥
渡米巡遊の計畫より出願中の
十一日其節より渡米船の下
りあり一行四十一名船近々出
渡米するこゝなりたり(六六)

日午後八時四
四丁目三巴酒

殘虐極まる拷問沙汰

五名の者檢舉さる

平安南道元豐郡元豐面三番里命
捕習三の地邊安んじなる者去
月二十七日無断にて家出したる
より命捕習三を能く搜索したる
も方知れざるより全く妻の實
妻を盜取るが河嶺にて

豐川良平氏

走せり

昏睡狀態に在り
 雪女 (ハアン)
 霧光 發明
 ない
 したむ
 彼は娘と並んで歩いた、二人は
 話をはじめた。娘は自分の名を
 がお雪といふ、近所の名に
 に見え、
 雨親をなくしたといふ、
 今はい戸、
 こゝにや、
 江村には、
 されば、
 雪女に病める雪族除
 雪女氏の翁は、
 日午前九時は、
 分脈第三十五呼吸吸
 村に感に三、
 高木の名を、
 告げ家人何れも

うかき尋ねて見るに、
はないに、娘が笑ひな

市、密陽國に現はる
 姓姫鮮女氣絶
 日前京城外、餘慶園なる京
 試遊藝館、楡林地の中央岳曲
 子餘金虎身にて驚かし
 夫等は「愛を要す」
 吉は妻帯者であるが、妻帯もあ
 りないならば、約束の嫁入りもな
 かへどうか尋ねた。已之吉は
 それに答へて、「自分は陰茎さ
 なつてる唯つた八人の御褒を
 獲はなければならぬのである
 が、まだ君がいから候御褒を
 三、四回ばかりもらひました

「いふ問題までには進
いど云つた。二人は、

く喰喫う中々に大蛇は怒り、
 陸に水呑まんと云ふ這ひ
 して折衝處に洗滌中の鱗を
 のろき、妻鳴を奪つて卒倒し
 し始末無様の大膽きさな
 女を出て仲の大蛇を半殺

もしくも思ひ頼もしも思
 はれながら、長い間敵たま
 うど行つたが、膝にも
 ふ通り二氣があれば、目口も
 はきに物を言ふゝものである。
 二人が、村に着くまでは、要
 行さる大蛇に好き合ふやうな
 つてた。己之旨は、お尋向
 りの、

つて、自分の家で暫時
くがよからうと云つた

小松茂太郎、同房子、同岡文子、山下美代、堀九郎兵衛、成一、二本松、鍋橋口重市、同いて、廣佐政親、伏木和士藏、荒井直外人二
河台爲、眞直、同ふ、司三郎、豊國吉田かね、山口永尾つとむ、一平、一月二十日付等々、主に八

るが町太は薩摩八月の由に社かじらしたにもちぢしてゐる十五
分飾れり就釋中なりミ、二が、巳之吉と一所に家へ入つて十六

るが
なり
斯うしたことの
し、お雪は、江
較早上りてしま

日本選手一行
桑港を出發
國際オリンピック大會に出場す
べき日本選手一行は十日桑港出
發、旅費もけり涙れも元氣旺盛なり
(桑港電)

部善 女の子も生んだ。

雄は黄金の一丁目を賣手に、
四百圓留所に控へて、被せ七
百四十圓入の金貨財布を奪り
取り、早速四丁目を發派出所へ
届け出たれば、二名巡査は時を
移さず該盗徒の進行止めの要障
一口にて一々取調したに曲者は
携りたる財布を事件に放棄し選

うに立派なものであつた。
村の人たちは、お雪のことを
自分さへも生來のものがつた
不思議な人であると思つてゐる
大抵の百姓女は、早く年寄りに
なるものであるが、お雪は六十

供で、みんなかあがつたやう
子供たちの皮膚は、ほんちん

人の子供の母さ
めて村へ来た日

雪女 (ハッソ)

(三) 霧光 黎明

彼は娘と並んで歩いた、二人は
顔を足にめた。娘は「白狐の名
がおおまといふか」、近頃自ら
両親をなくしたといふから、
今は江戸へ出る道中であるとい
ふことや、吾人は、幾多こそ

ないやうに若くもあり、生きさ
した顔容をしてゐるのであつた。
或夜、子供たちが眠た様子を
雪女は、行燈の火で針仕事をし
てゐた。已之吉は、お母をつくら
く舅ながら、

「おまへが、行燈の光に顔をうつ
されながら、然うやつて針仕事
をするのか」といふ。

△二三
人々
宴席で
人は玄

[illegible]

尤も態々他人眞似
作をするには及ば

頼もしくも思ひ、頼しも無いと思はれたるふのは最愚である。若の師匠に對する三昧油を飲めば世に出づといふやうな師匠自白に氣を研ぎつゝあるやうな野狐は、動かなで先へ我れ天狗と見做つて上方が悉く其意解神主と臨み二人が、村に著くまでは、要らざる大變に好き合ふやうなやつた。己之旨は、お寺に向

五福金運路船

工關金

父、文子、山下美代、堀九郎兵衛、	成一、平塚善、同直、大森清太郎、上	十六日	朝御丸	夕高
政雄、伏木和子、吉富荒井、外二人二名、等百名、(團部)	重	十五日	朝御丸	夕高
國武、吉田、山口、永尾、の、發出直次郎、同、	重	十四日	朝御丸	夕高
二月、下、左、	重	十六日	朝御丸	夕高
に、已、吉、一所に家へ入つ	重	十六日	朝御丸	夕高

千早の男心女心を
看破する事が出来た

[illegible]

年
何人にもわかる様
附で記述してある
金堂四廿四にて

浪花館
開演
愈々十五日よ
京日案内
正保見習人用
京圖十郎
竹生英堂

金町二葉
出版及印刷

[illegible]

平壤橋口町
賞望之方八
御照會成度

[illegible]

電話二一六番

[illegible]

吉田
御殿
●
ほねつ
本町二丁目三七文

女三郎、秋山しら、小野しや 常太郎太木下辰次 監田森 村家一太田徹三、鹿兒島津 、厚村たけふ、同かつ同馬日きよ、丹摩あつち、三島林吉、羽生○ ○	子、中野藤太郎、有馬長次郎、竹間うゝ 安守大平源江、同喜江、同恵爾太 澤菜田五郎次、三島桂吉、羽生○
--	--

昭和三年三月三日
 右演劇席番 山四十郎
 水戸真門、吉田十人、柳

明治町　柔術道場

一の元授松佐位に就き
 明治町

品質——精良至純
効力——強烈無比
聲價——洽轟歐米

猪印のみどり粉

株式會社 安仁大藥房

品一

下天

管内省御用達

ンマー コツキ

少人数用
御贈答用
最好適品

一升壺詰發賣

野田醤油株式会社

千葉縣野田町

全關町、處有左を
酒醬油店に有之候

同發成、御切き、岩田本林形吉、和田也三子、光太、
荒瀬奇三、等三百〇二名同房、日成廣海、有田直助、杉
日飛入、吉田愛丸二、等客、田松太郎、岡本松太郎、曾井松藏
牧千代三、井橋秀雄、福田つね吉、川起太郎、岡田芳太

[illegible]

傳
 ノ處養生不相
 叶十一日午後
 八時福岡大學
 病院ニテ永眠
 致仕候間此段
 謹告仕候
 追布振懐ハ十八日午
 後四時舊宅出棺永眠
 野木園寺ニ於テ相葬
 中候
 大正九年六月十四日
 六十九北米倉町
 作活家
 子
 岩村秋次郎
 親族江藤謙藏
 親代堀江勝平
 女入後藤相吉
 親代永松吾策

水源 地見學團

男女老幼を問はず 多数の参加を希望します

見學場所
方 法
時 日

江を下り午後飯は河風涼しい船中を終り二三時間漢江兩岸の風光を賞でつ、驚き津に著る翌の午後四時時

一切無料 但し、船費、食料、水費は各自用意あり

主催 京城日報社

原首相を暗殺せんとす

拳銃と爆弾を携へて 徘徊せる一怪漢 支那浪人芝にて捕はる

喜雨

農民愁眉を解く

正義の爲めに

悪鬼バルチザン 一派を撲滅して 国民の血を清くしようとす

重大事件犯人か

國府津驛にて捕はる 一各犯し居たるを小田原署員が警視し居る上

保釋申請

十四日京城 地方法院へ

初荷の獨逸書

注目すべき書籍 本月下旬に到着せん

電車先づ 左側運転

改正を願出づ 追て道路も

建物の引渡し式

兼用公會堂の 落成式に充ちて

食堂に 名づけて

精養軒と 名づけて

期米盛んに下落

一日一圓以上の割で 正米も投出すべし

交通巡査に

オリブ色 の胸章を

萬國郵便會議

今秋西班牙にて開催す

大相撲

七月六日頃 京城初日は

飛行講演

マフ、兩中尉の 飛行講演

十年四

大連で 中を捕はる

夏にふさはしい

水源地見學と 趣味深き漢江下り

虎列拉

初發以來十 名に達す

自動車の衝突

轉車自 衝突

白米値下げ

一等精白米 一升四十五 二升四十六

急告

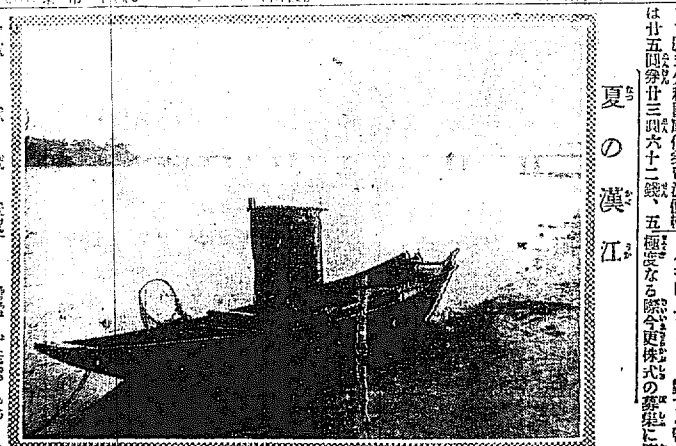
一等精白米 一升四十五 二升四十六

急告

一等精白米 一升四十五 二升四十六

急告

一等精白米 一升四十五 二升四十六



夏にふさはしい 水源地見學と 趣味深き漢江下り

期米盛んに下落 一日一圓以上の割で 正米も投出すべし

白米値下げ 一等精白米 一升四十五 二升四十六

交通巡査に オリブ色 の胸章を

